

びわ湖岸でのサイクリストへのアンケートと 自転車走行台数測定結果報告書

平成 27 年 12 月

滋賀プラス・サイクル推進協議会

目次

1. はじめに.....	1
2. 道の駅におけるサイクリストへのアンケート.....	1
2-1. 調査手順.....	1
2-2. 調査場所と回答数.....	1
2-3. 調査結果.....	2
2-3-1. 回答者のプロフィール.....	2
2-3-2. 今回のサイクリングについて.....	2
2-3-3. サイクルサポートステーションについて.....	5
2-3-4. 路面への走行位置表示について.....	6
2-3-5. 「よりみちコース」について.....	7
2-3-6. びわ湖を走って良かったこと、改善して欲しいこと.....	7
2-3-7. 調査地点毎の集計.....	10
2-3-8. びわ湖一周かそれ以外かに分けた集計.....	13
3. 自転車走行台数の測定.....	15
3-1. 調査手順.....	15
3-2. 調査結果.....	15
3-2-1. 地点別走行台数.....	15
3-2-2. 道路上の走行位置別台数.....	16
3-2-3. 時間帯別集計.....	18
3-3. 年間のびわ湖一周者数の推計.....	19
4. まとめ.....	21
5. 付録.....	22
アンケート用紙.....	22
意見一覧.....	24

1. はじめに

現在、地域活性化の手段として自転車を使った観光、サイクルツーリズムが注目されている。

滋賀県では、初心者でも一泊程度、上級者なら1日で廻れるコースとしてびわ湖一周サイクリングが以前から人気であり、県としてもインフラ整備とPRにより、さらに多くの方に楽しんでいただくことで地域活性化に貢献するべく推進を行っている。

そのための取り組みの一つとして平成27年10月31日(土)から11月29日(日)にかけて、「安心・快適ビワイチサポートプロジェクト」と題して、びわ湖一周ルート周辺の道の駅やコンビニエンスストアにおいてサイクリスト向けのサポートを行う「ビワイチサイクルステーション」や、一部地域で路面への矢羽根印による走行位置の明示等の試行事業を行った。

その一環として、今後の取り組みに向けての基礎データ収集のため、道の駅でのサイクリストに対するアンケートと湖岸での自転車走行台数の測定を行った。本報告書はそれらの結果についてまとめたものである。

2. 道の駅におけるサイクリストへのアンケート

2-1. 調査手順

平成27年10月31日(土)、11月1日(日)の2日間、湖岸にある道の駅4ヵ所で、サイクリスト向けのアンケートを行った。

アンケートの内容は以下の通りである。

・回答者のプロフィール	4問
・今回のサイクリングについて	10問
・サイクルサポートステーションについて	4問
・路面への走行位置表示について	3問
・「よりみちコース」について	1問
・びわ湖を走って良かったこと、改善して欲しいこと	4問

アンケート用紙については、5章に付録として掲載している。

2-2. 調査場所と回答数

調査地点と、各地点でのアンケート回収数は以下の通りである。

・道の駅 草津 グリーンプラザからすま(草津市)	31日: 11枚	1日: 11枚	計: 22枚
・道の駅 湖北みずどりステーション(長浜市湖北町)	31日: 110枚	1日: 62枚	計: 172枚
・道の駅 塩津海道あぢかまの里(長浜市西浅井町)	31日: 33枚	1日: 34枚	計: 67枚
・道の駅 しんあさひ風車村(高島市新旭町)			計: 39枚(調査日未分類)
合計: 300枚			

なお、以降のグラフ右下の「N=」は、それぞれの設問の有効回答数である。

アンケート用紙についての反省点として、用紙裏面に全く記入のないものが60枚ほどあったことが挙げられる。表面の最後に「裏面に続きます」の記述は入れていたが、もっと目立たせるべきであった。



2-3. 調査結果

2-3-1. 回答者のプロフィール

質問 1. 回答者の居住地

滋賀県内が25%を占め、続いて、大阪、愛知、京都と周辺の大都市がある府県が上位を占めた。関東や静岡、山梨等その周辺からも計6%の来県があった。

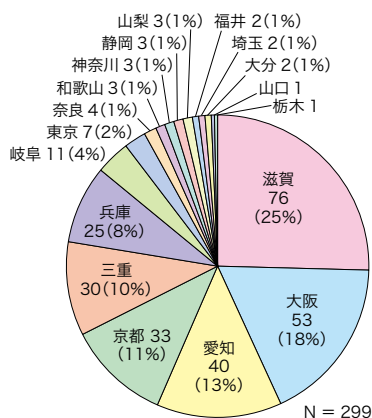


図 2-1 回答者の居住地

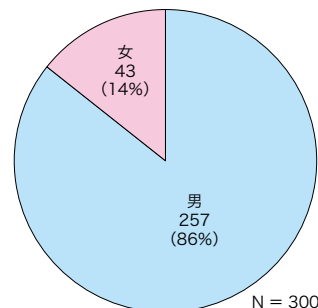


図 2-2 回答者の性別

質問 2. 性別

男性が86%を占める結果となった。

質問 3. 年代

40歳代が最も多いが、10歳代から70歳以上まで幅広い年代に渡っている。

質問 4. 長距離サイクリング (約50km以上)の経験

20回以上が40%を占め、比較的サイクリングに慣れた層が多いことが分かる。

なお、「なし」と「今回が初めて」の違いは、「なし」が今回のサイクリングも50km未満であるのに対して、「今回が初めて」は今回が初めての50km以上ということである。

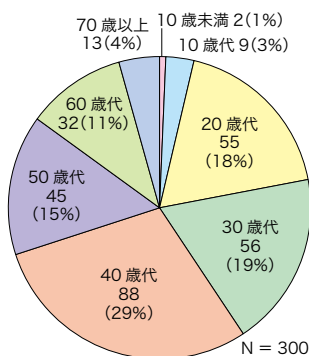


図 2-3 回答者の年代

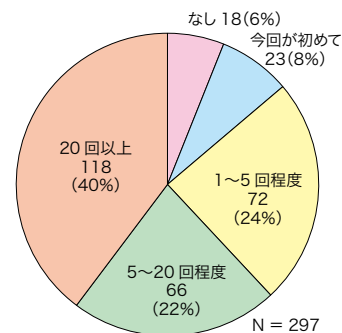


図 2-4 長距離サイクリングの経験

2-3-2. 今回のサイクリングについて

質問 5. 今回のサイクリングはびわ湖一周 (琵琶湖大橋以北を一周を含む)か？

79%と圧倒的にびわ湖一周が多いことがわかる。ただし、今回のアンケートは南湖にある「道の駅 草津グリーンプラザからすま」でのサンプル数が22と少なく、回答が北湖のさらに北の方に偏っていたという問題がある。後ほど「3. 自転車走行台数の測定」でも述べるように、びわ湖の南の方がびわ湖一周以外のサイクリストが多いと考えられるため、全体の走行台数からするとびわ湖一周の割合はもう少し低くなると考えられる。

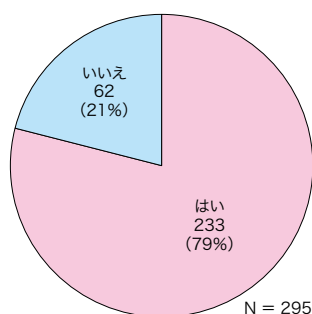


図 2-5 びわ湖一周か？

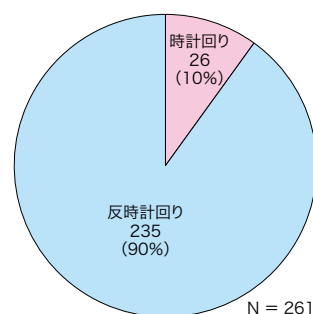


図 2-6 びわ湖を回る向き

質問 5-1. びわ湖一周の方へ、びわ湖を回る向きは？

反時計回りが90%と圧倒的多数を占めた。自転車は左側通行のため反時計周りの方が湖岸近くを走れ、景色も良く交差する道も少なく安全であることが浸透していると推測される。

**質問 6. これまでのびわ湖一周の経験数
(琵琶湖大橋以北を一周を含む・
複数回に分けてでもよい)**

0 回が 43% を占めているが、リピーターも多く、「100 回以上」という回答もあった。

質問 7. サイクリングの日数

日帰りが 71% を占め、2 泊以上は非常に少ないことが分かる。

**質問 8. 今回のサイクリングのスタート
地点及び出発時刻**

スタート地点は米原市が最も多いという結果になった。ただし、平成 26 年 3 月に輪の国びわ湖推進協議会で行った「びわ湖一周サイクリングに関するアンケート調査」では、出発地として大津市が 39% で最も多く、米原市は 3% のみであった。今回のアンケートでは大津市を「浜大津周辺またはそれより東側」、「堅田・雄琴周辺」、「それ以外の大津市」の 3 つに分けたため、これらを合計すると 26% となり最も多いことになるが、なぜ米原市の割合にこれほどの違いが出たのかの原因は不明である。

出発時刻については、質問 10 のゴール地点への到着予定時刻と合わせて、図 2-10 に示す。

出発時刻は 7 時～8 時台が最も多いが、6 時台の出発も 30 名程度と比較的多い。本アンケートの調査時期の日の出は 6 時半頃であったため、日の出の前後から出発する人も比較的多いことがわかる。到着予定時刻は 15 時～17 時台が多くなっており割合早めだが、サイクリングでは経験上予定時刻よりも到着が遅くなるのが常であるため、実際の到着時刻はこれより遅いと思われる。

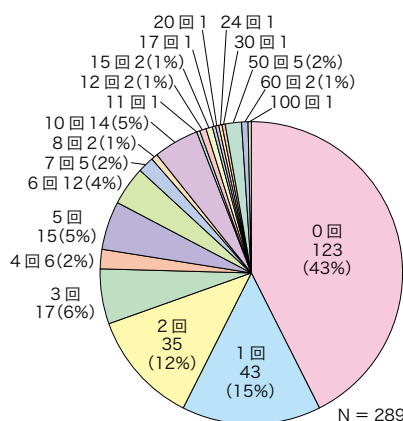


図 2-7 びわ湖一周の経験数

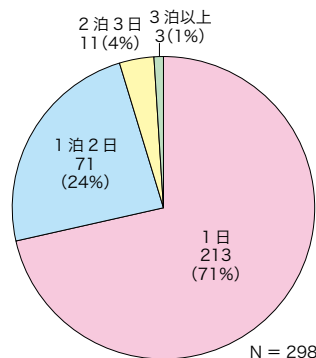


図 2-8 サイクリングの日数

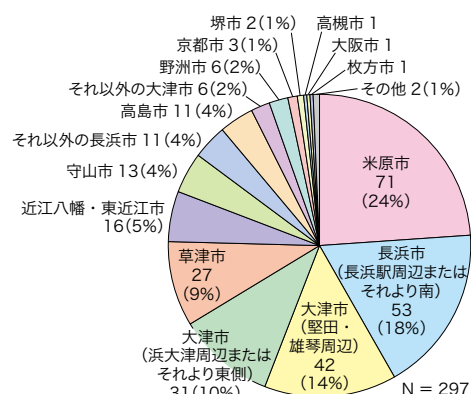


図 2-9 サイクリングのスタート地点

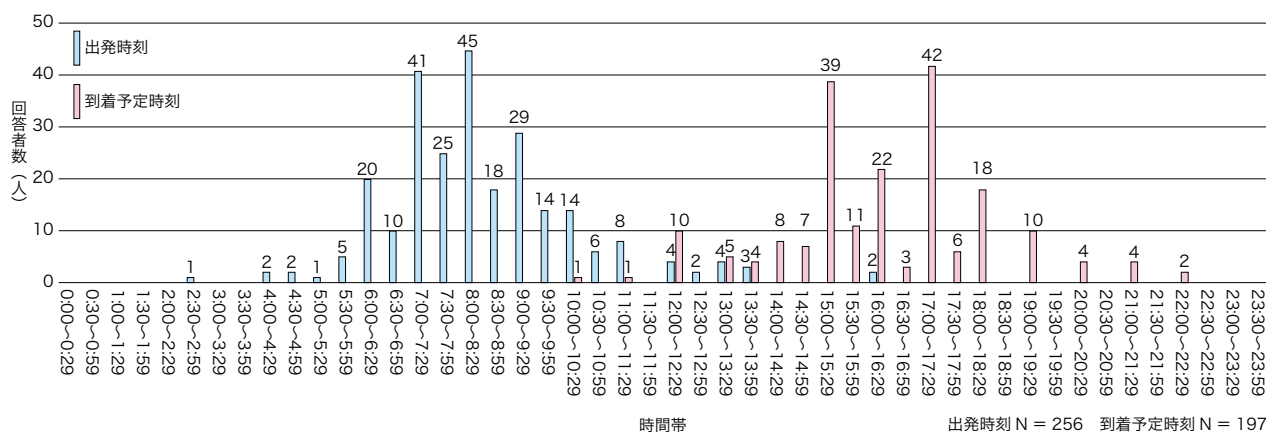


図 2-10 サイクリングの出発・到着予定時刻

質問 9. スタート地点までの利用交通手段

自家用車が半数以上を占め、続いて自宅から自転車の人が多かった。公共交通は14%とあまり多くはない。

スタート地点まで鉄道利用の場合の利用駅は、右図の通りである。

回答者数が少なかったため参考程度にするのが良いと思われる。

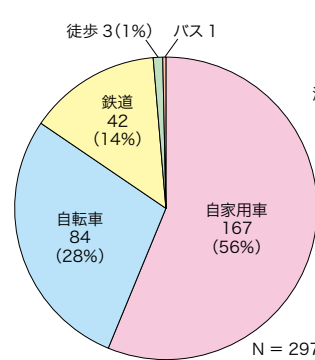


図 2-11 スタート地点までの利用交通手段

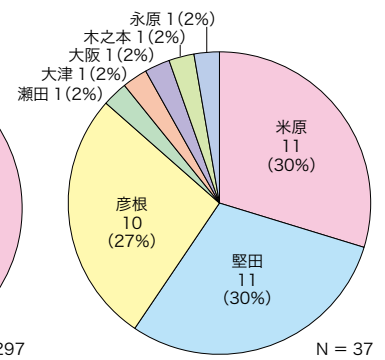


図 2-12 スタート地点まで鉄道利用の場合の利用駅

質問 10. 今回のサイクリングのゴール地点及び到着予定時刻

ゴール地点も質問 8 のスタート地点とほぼ同様の結果になった。それぞれの地点毎に分けた場合と、スタート地点と同じ場合は「スタート地点と同じ」とした場合の両方を下図に示す。スタート地点とほぼ同じ結果になったのは、車の来県が多いためびわ湖一周以外の場合でも元の場所に戻る必要があるためだと推測される。到着予定時刻については、質問 8 の項に掲載している。

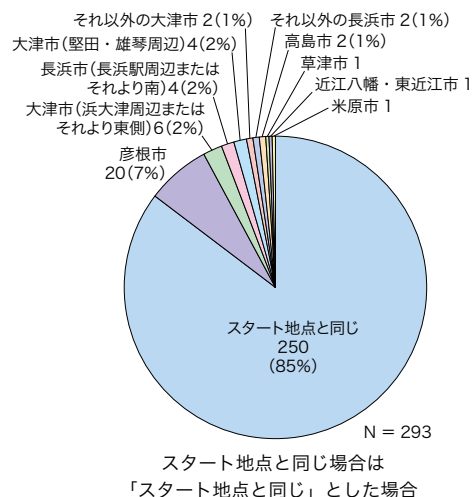
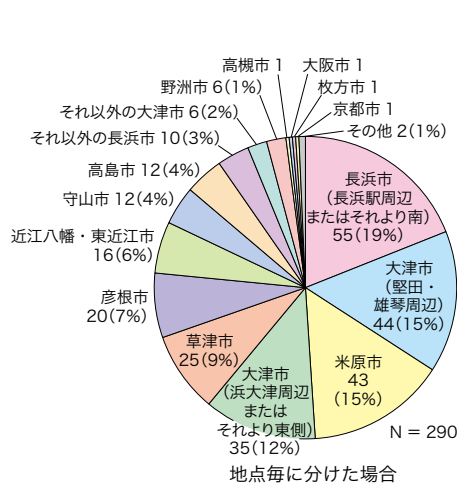


図 2-13 サイクリングのゴール地点

質問 11. ゴール地点から自宅までの利用交通手段

これも質問 9 のスタート地点までの利用交通手段とほぼ同様の結果である。

ゴール地点まで鉄道利用の場合の利用駅は、図 2-14 の通りである。

回答者数が少なかったため参考程度にするのが良いと思われる。

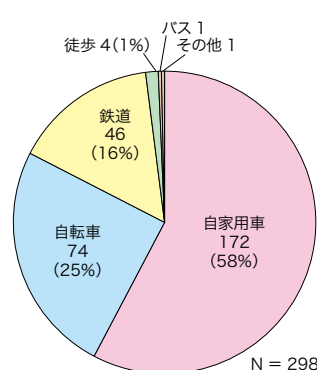


図 2-14 ゴール地点から自宅までの利用交通手段

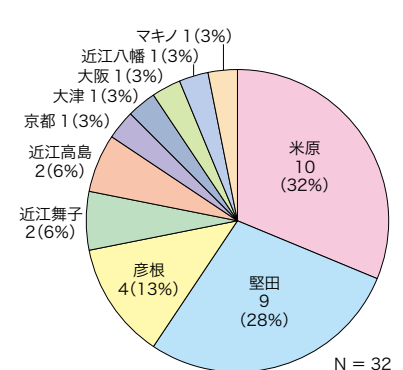


図 2-15 ゴール地点まで鉄道利用の場合の利用駅

質問 12. 宿泊場所

質問 7 の結果の通り日帰りが多くを占めるが、宿泊する場合は長浜市、大津市、高島市が比較的多いことがわかる。彦根市および近江八幡市の割合が低いのは、大津、米原いずれを出発する場合も 1 泊 2 日だとこれらの市の場所が中途半端であることが考えられる。

質問 13. レンタサイクルかどうか

レンタサイクルの割合は 6% と非常に少ない。びわ湖一周に使えるだけのレベルのレンタサイクルが少なく、あっても広報が十分でないことが考えられる。

質問 13-1 レンタサイクルの方へ、どこで借りたか

サンプル数が少ないが、彦根、米原、高島が多い。びわ湖一周にも使えるレベルのスポーツ自転車を貸し出しているのがこれらの場所であるためだと推測される。

米原では、本試行事業と同時期に駅前に特設ステーションを設けて、スポーツ自転車レンタルの試行を行っていた。

なお、彦根、米原、ホテルラフォーレで借りた人は全員がびわ湖一周で、それ以外で借りた人は全員がびわ湖一周以外であった。

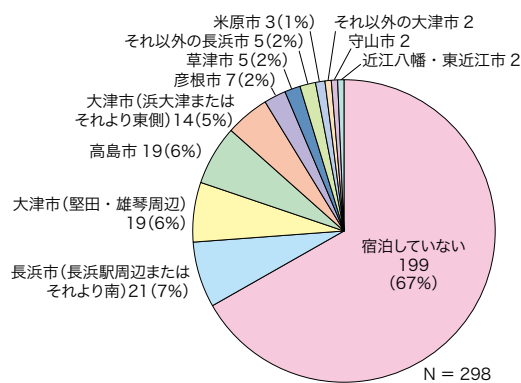


図 2-16 宿泊場所

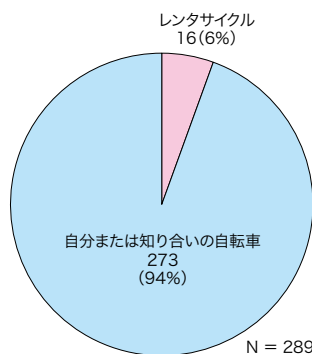


図 2-17 レンタサイクルかどうか

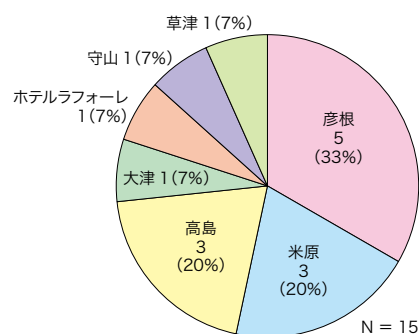


図 2-18 どこで借りたか

2-3-3 サイクルサポートステーションについて

質問 14. 「安心・快適ビワイチ サポートプロジェクト」を知っていたか

「知っていた」は 15% であった。本試行事業のビワイチサイクルステーションにチラシを置いていたため、それを通じて知ったのではと推測される。

質問 15. サイクルサポートステーションに立ち寄ったか

1 回以上立ち寄ったという回答が 3 分の 2 を占めたが、アンケートを行った道の駅がすべてサイクルサポートステーションでもあったため、その道の駅に立ち寄ったことを「立ち寄った」と回答している可能性がある。質問を工夫するべきであった。

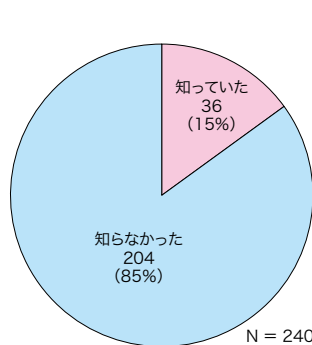


図 2-19 「安心・快適ビワイチ サポートプロジェクト」を知っていたか

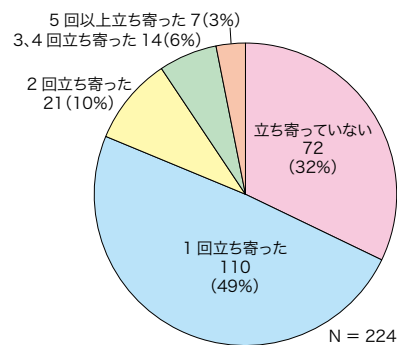


図 2-20 サイクルサポートステーションに立ち寄ったか

質問 15-1 サイクルサポートステーションに立ち寄られた方へ、 利用したサービス【複数回答可】

トイレ、サイクルラック、休憩スペースの順に多い結果となった。空気ポンプ、チューブ・パッチの販売、工具との回答も一定数あったので、トラブル時にも役立っている
と推測できる。

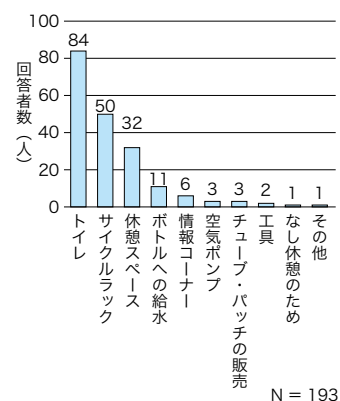


図 2-21 サイクルサポートステーションで利用されたサービス

質問 16. サイクルサポートステーションに欲しいサービス【複数回答可】

本試行事業では一部のステーションでシャワーおよび宿泊施設への荷物の搬送も用意していたが、要望としては比較的少ないことがわかる。

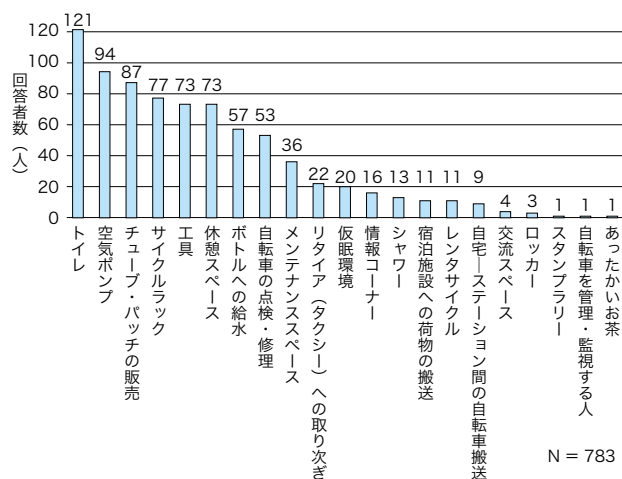


図 2-22 サイクルサポートステーションに欲しいサービス

2-3-4 路面への走行位置表示について

質問 17. 矢羽根マークに気がついたか

「気がついた」が50%であったが、「通ったが気がつかなかった」の回答も32%あった。後述の質問 17-1の結果から自転車に対するマークだとはわからなかったのではと推測される。

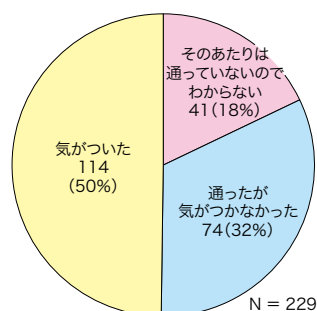


図 2-23 矢羽根マークに気がついたか

質問 17-1 「気がついた」と回答された方へ、 路面への表示は標識に比べてわかりやすいか

「路面への表示がわかりやすい」という意見が多数を占めた。「標識の方がいい」という意見の場合も、今回の矢羽根印が自転車に対するものだとはわからなかったためこれを選択した者が一定数いるのではと思われる。

その他の自由記述に書かれた意見は以下の通りである。数字はそれぞれの意見の件数である。

- ・段差が辛い 1
- ・自転車用レーンだと知らないと気付かない 1
- ・段差があるので走りにくい 1
- ・自転車への表示とは思わなかった 1
- ・わかりにくい 1
- ・あまり意味がない(現時点) 1
- ・わかりやすいが段差を感じてしまう 1
- ・交差点等にあれば良いと思う 1

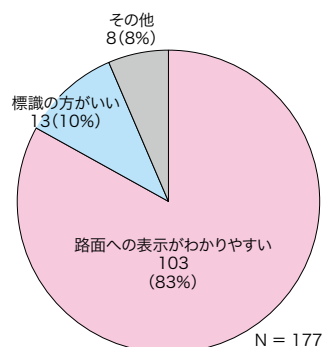


図 2-24 路面への表示は標識に比べてわかりやすいか

質問 17-2 さらにわかりやすい表示にするために、思いつくことがあれば

自由記述であるが、同じ意味合いの意見まとめたものを次に示す。数字はそれぞれの意見の件数である。
元の意見は5章の付録に掲載している。

・目立つ色にする（オレンジ・赤等）	8	・その他小数意見	
・線を引く（しまなみのような青ライン）	6	もっとわかりやすい地図の配布	1
・線で車道と区切る	5	サイコンに表示する（WiFi）	1
・距離を書く	4	段差がダメ	1
・看板も必要	4	このアンケートでわかりました	1
・文字で「サイクリングコース」等と書く	3		
・自転車マークを表示	2		
・幅を広げる	2		
・分岐点に矢印の案内が欲しい	2		
・ドライバーに注意を呼びかける標識	2		

2-3-5 「よりみちコース」について

質問 18. 「よりみちコース」の案内があれば、走ろうと思うか

「思う」との回答が4分の3を占めた。寄り道コースの案内は有効だと考えられる。

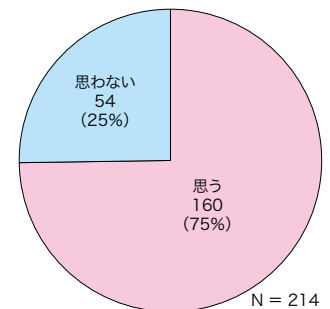


図 2-25 「よりみちコース」の案内があれば、走ろうと思うか

2-3-6 びわ湖を走って良かったこと、改善して欲しいこと

質問 19. びわ湖を走ってみてよかったと思うこと

自由記述であるが、同じ意味合いの意見まとめたものを次に示す。数字はそれぞれの意見の件数である。
景色やびわ湖の美しさを挙げる意見が圧倒的に多かった。
元の意見は5章の付録に掲載している。

・景色、びわ湖の美しさ、季節の移ろい	56	・その他小数意見	
・気持ちがいい	17	場所ごとに異なる文化・歴史	1
・達成感、自分との戦い	14	地元滋賀の良さを再発見できる	1
・坂が少なく走りやすい	10	一周の距離が適度	1
・走りやすい	8	とても走りやすい。時々狭い場所があるので	
・信号が少ない	5	すべて走りやすくなると思います	1
・道が良い	4	風が強い	1
・自然がいっぱい	2	サイクリングロードが整備されている	1
・人が親切	2	友達が出来た	1
		平らな道路が多いが近江八幡の道路が狭い	1
		よかった	1
		自転車を買ったから	1
		また来たいと思います	1
		全てよい	1

質問 20. 車と同一区間を走行するところにおいて、走行性、案内や安全面でもっと改善して欲しいこと
【複数回答可】

「車と自転車の通行は別にする」、「レーンマークで分けて欲しい」の意見が多く、車との分離が望まれていることがわかる。

その他の自由記述の少数意見は次の通りである。

・路面のでこぼこをへらしてほしい	1
・一部自転車車が車道を通るには幅が狭く危険な道がある	1
・コンビニの標識がほしい	1
・道路をきれいにしてほしい 段差がない道にほしい	1
・道路のデコボコをなくして欲しい	1
・今日がはじめてなのでわからない	1
・できれば自転車専用レーンを作って欲しい	1
・小石が気になる パンクしました	1
・トンネルが危ない感じ	1
・路面の穴と草	1

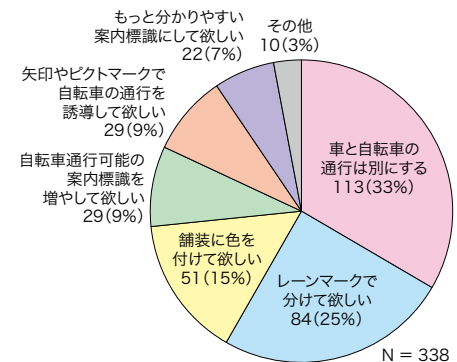


図 2-26 車と同一区間を走行するところにおいて、走行性、案内や安全面で改善して欲しいこと

質問 21. 道路や案内など、問題だと思う所、安全面でもっと改善して欲しいこと

自由記述であるが、同じ意味合いの意見まとめたものを次に示す。数字はそれぞれの意見の件数である。
 元の意見は 5 章の付録に掲載している。

・自転車道の整備・車との分離	14
・道の段差を無くして欲しい	12
・舗装の状態が悪い	10
・路肩を広くして欲しい	7
・トンネルが怖い	7
・高島から大津にかけてが走りにくい	5
・砂利や小石で走りにくい	4
・案内板を充実して欲しい	4
・サイクリングロードがわかりにくい	4
・歩道を広くして欲しい	2
・道の駅等休憩所が道の反対側にあり、入りにくい	2
・草を切って欲しい	2
・特になし	2
・その他小数意見	
休けい所に入りにくい（反対車線側にある為）	1
エイドステーションに反対車線を通っていても入りやすいようにしてほしい	1
照明を増やす（街灯）	1
ドライバーが自転車にやさしくない	1
道の駅への入口に横断道を欲しい	1
チェックポイントをわかりやすく	1
分岐でこの後、本線と合流するかどうかがわかるようにして欲しい	1
歩道が狭く、車道も狭いとき、車の追い抜きが怖い	1
さざなみサイクリングロードに寄ったらひどかったので、整備するなり、看板を外すなりすべき！ 大型トラックが時々怖い	1

整備が必要な具体的な場所として、「びわ湖一周サイクリングに関するアンケート調査」では以下の場所が挙げられている。

表 2-1 琵琶湖一周サイクリングで危険だと感じた場所

危険場所		意見数
琵琶湖南側地域	大津～守山（琵琶湖大橋） 区間	4
	・大津市街地周辺	3
琵琶湖東側地域	守山～近江八幡 区間	7
	近江八幡～彦根 区間	8
	彦根～長浜 区間	7
	・近江八幡・岡山越え	2
琵琶湖北側地域	長浜～木之本 区間	10
	木之本～マキノ 区間	10
	・トンネル・賤ヶ岳のトンネル	36
琵琶湖西側地域	マキノ～高島 区間	17
	高島～堅田 区間	27
	堅田～大津 区間	10
	・高島周辺	2
	・白鬚神社周辺	14
	・堅田（琵琶湖大橋西側橋詰） 周辺	4
道路名称	湖岸道路* ¹ （琵琶湖東側）	11
	国道 161 号線* ² （琵琶湖西側）	21
道路・交通状況	ドライバーのマナー・車との並走	12
	人の往来・歩道の走行	6
	交通量の多さ	14
	道路の整備不足	6
	道路・路肩が狭い	19
	段差がある	6
	暗い	3
	国道の横断	2
	自転車専用道路の不足* ³	12
その他		7
なし・空白		73

*1 「さざなみ街道」「湖周道路」の表記も含む

*2 「湖西の国道」「湖西のバイパス」「西近江路」の表記も含む

*3 自転車専用道路の延長要望も含む

「びわ湖一周サイクリングに関するアンケート調査報告書」平成 26 年 3 月 輪の国びわ湖推進協議会、NPO 法人五環生活 より引用

これらの結果を念頭に、自転車の走行環境の整備を進めていくことが重要と考えられる。

質問 22. びわ湖のサイクリングをさらに楽しむために、必要だと思うサービス

自由記述であるが、同じ意味合いの意見まとめたものを次に示す。数字はそれぞれの意見の件数である。
元の意見は付録に掲載している。

・サイクリングロードの整備	7	・その他少数意見	
・故障時の修理サービス	7	コンビニエンスショップ	1
・案内標識の充実	7	歩行者数に対して歩道が太すぎるか？	1
・サイクルステーションのサービス充実	4	休憩スペースを増やしてほしい	1
・サイクルラックを増やして欲しい	3	すばらしい	1
・トイレの増設	3	まだよくわからない	1
・距離表示を増やして欲しい	3	一人だと車道を走るのが怖い	1
・レンタサイクルの充実	3	イベント	1
・道路のメンテナンス（凸凹、小石等）	3	大型車の走行を制限する。怖い。	1
・駐輪中の有料監視サービス	2	楽に走れる道を増やして欲しい	1
・電車に持ち込めるようにして欲しい	2	びわ湖はサービスがとてもいいと思います。	1
・特になし	2	サイクリングマップがわかりにくい（ネットからダウンロードしました） 観光への案内がほしい	1
		自家用車をとめておける駐車場が多いと良い	1
		食事かな	1

2-3-7 調査地点毎の集計

アンケート結果を調査地点の道の駅ごとに集計し比較を行った。
特徴的な結果のみ以下に示す。

質問 1. 回答者の居住地

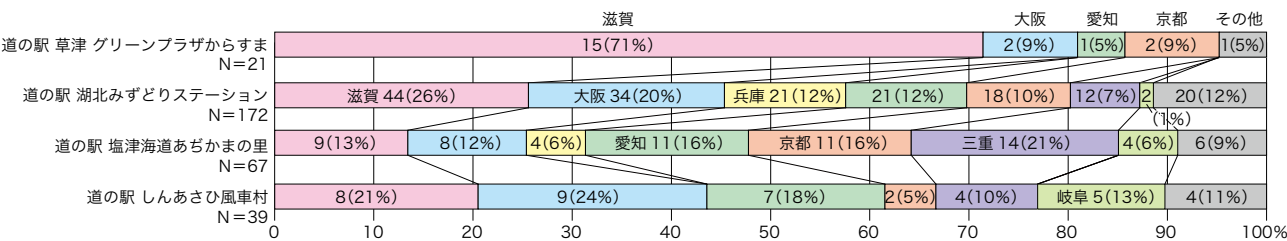


図 2-27 調査地点毎の回答者の居住地

質問 2. 性別

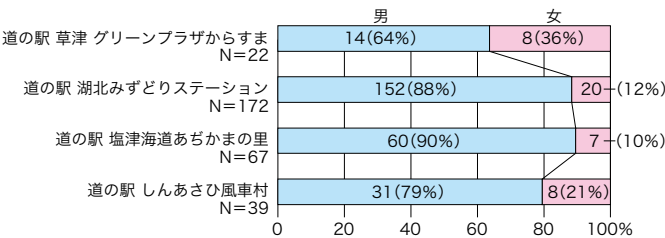


図 2-28 調査地点毎の性別

質問 4. 長距離サイクリング（約 50km 以上）の経験

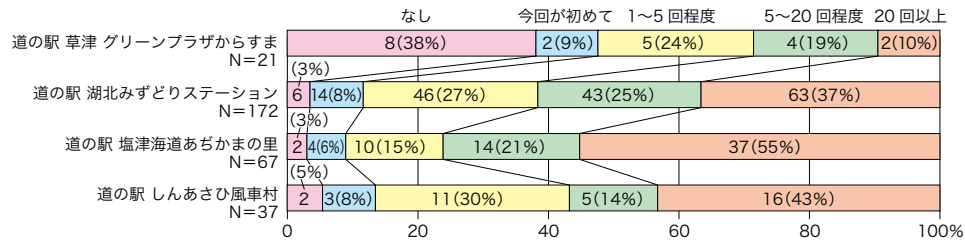


図 2-29 調査地点毎の長距離サイクリングの経験

質問 5. 今回のサイクリングはびわ湖一周（琵琶湖大橋以北を一周を含む）か？

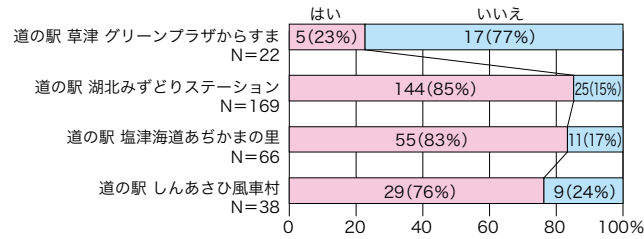


図 2-30 調査地点毎のびわ湖一周かどうか

質問 7. サイクリングの日数

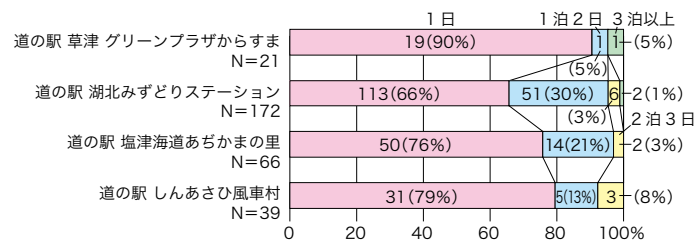


図 2-31 調査地点毎のサイクリングの日数

質問 8、10 今回のサイクリングの出発時刻及び到着予定時刻

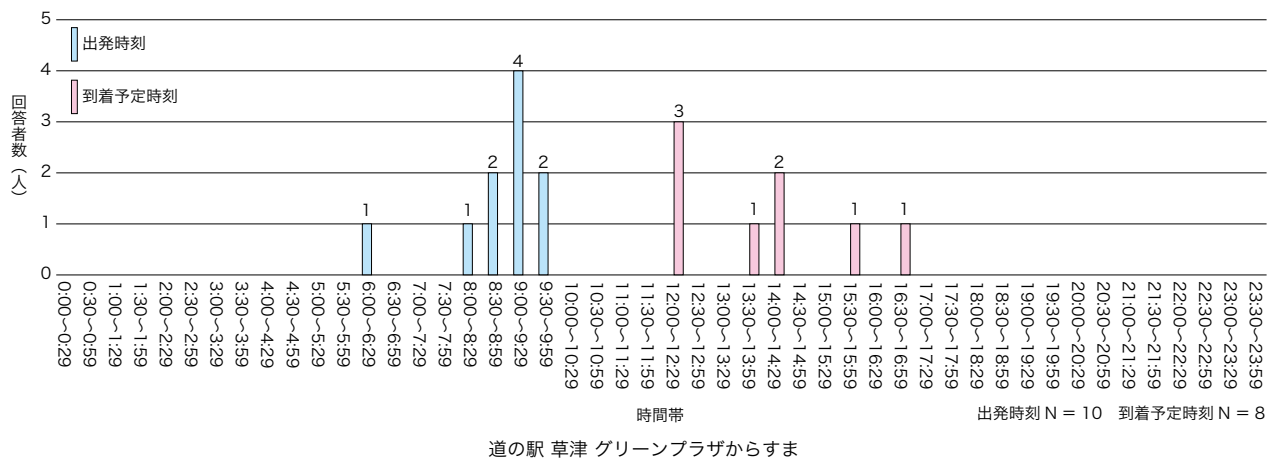


図 2-32-1 調査地点毎のサイクリングの出発時刻及び到着予定時刻 1

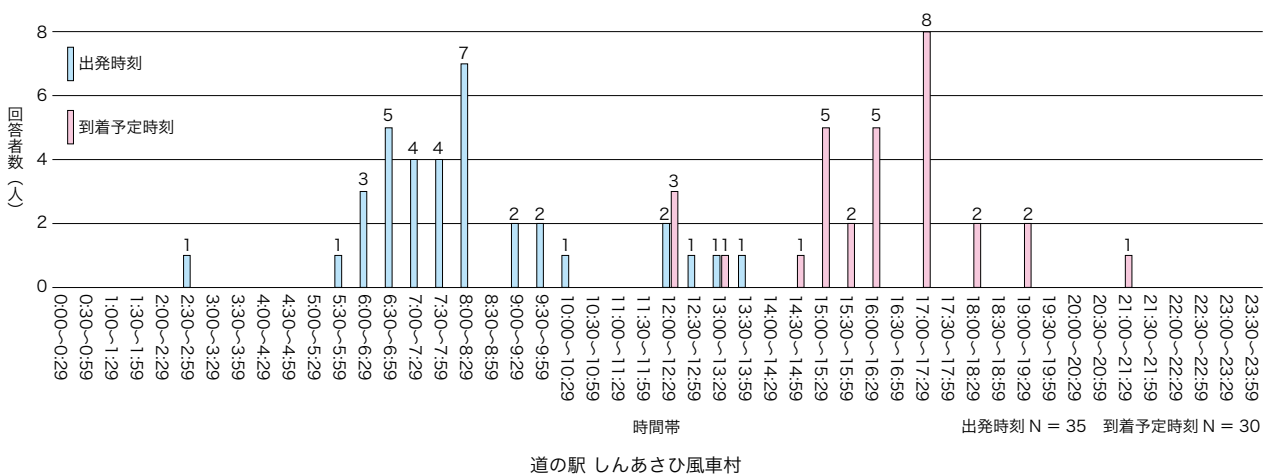
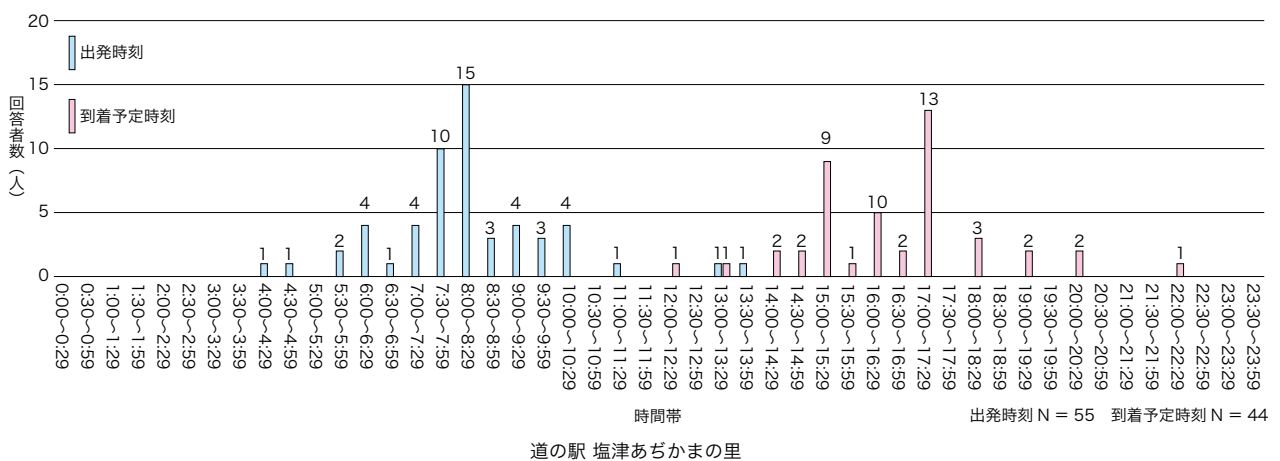
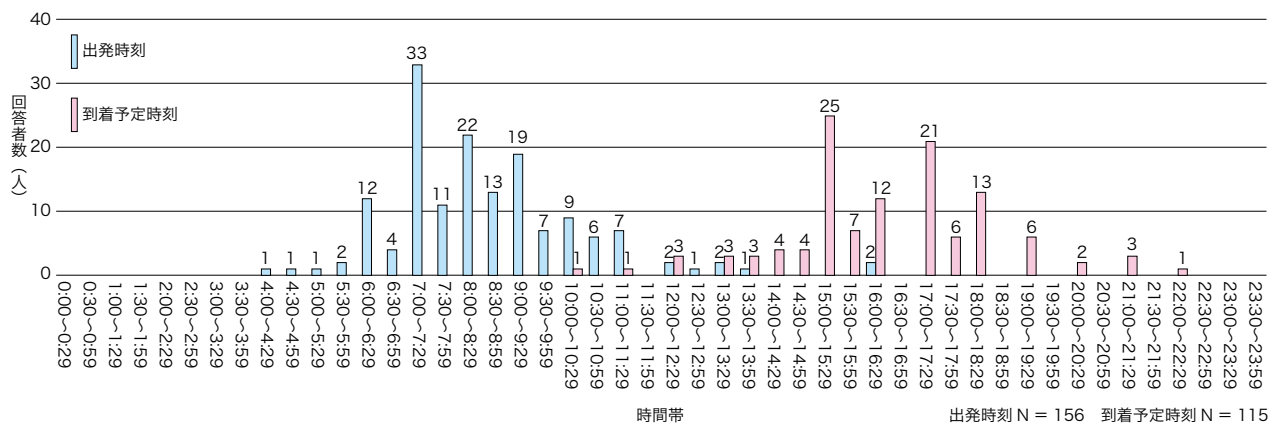


図 2-32-2 調査地点毎のサイクリングの出発時刻及び到着予定時刻 2

質問 9. スタート地点までの利用交通手段

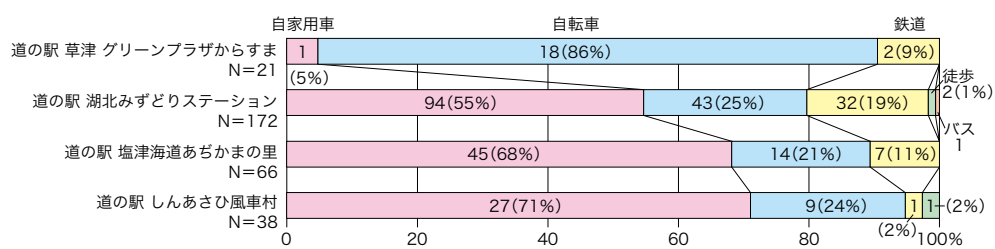


図 2-33 調査地点毎のスタート地点までの利用交通手段

以上の結果より、南湖（道の駅 草津 グリーンプラザからすま）と北湖のさらに北より（それ以外の調査地点）で、傾向がはっきり異なることが分かった。

南湖では、滋賀県内のサイクリング初心者が近距離をサイクリングするのが主流である。それに対して北湖では県外の比較的サイクリングに慣れた人がびわ湖一周するのが主流であることがわかる。

また、南湖では北湖に比べて出発時刻は遅く、到着予定時刻は早い。

交通手段としては、南湖では県内在住者が自宅から自転車で走ってくるのが主流であるのに対して、北湖では自家用車で滋賀まで来るのが主流であることがわかる。

2-3-8 びわ湖一周かそれ以外かに分けた集計

表題の通りに分けて集計を行った。

特徴的な結果のみ以下に示す。

質問 1. 回答者の居住地

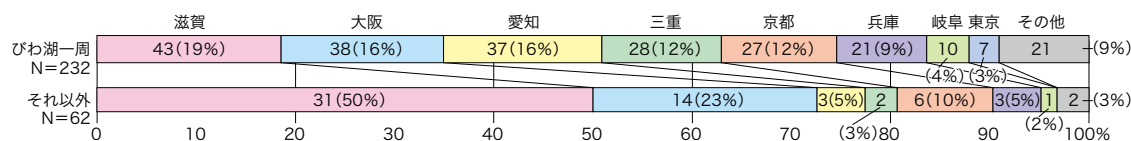


図 2-34 びわ湖一周かそれ以外かに分けた回答者の居住地

質問 2. 性別

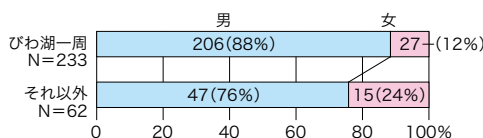


図 2-35 びわ湖一周かそれ以外かに分けた性別

質問 3. 年代

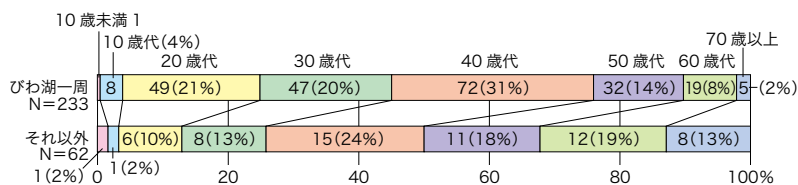


図 2-36 びわ湖一周かそれ以外かに分けた年代

質問 4. 長距離サイクリング（約 50km 以上）の経験

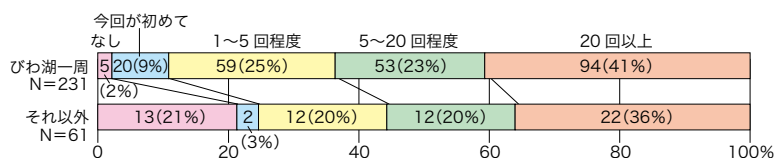


図 2-37 びわ湖一周かそれ以外かに分けた長距離サイクリングの経験

質問 8、10 今回のサイクリングの出発時刻及び到着予定時刻

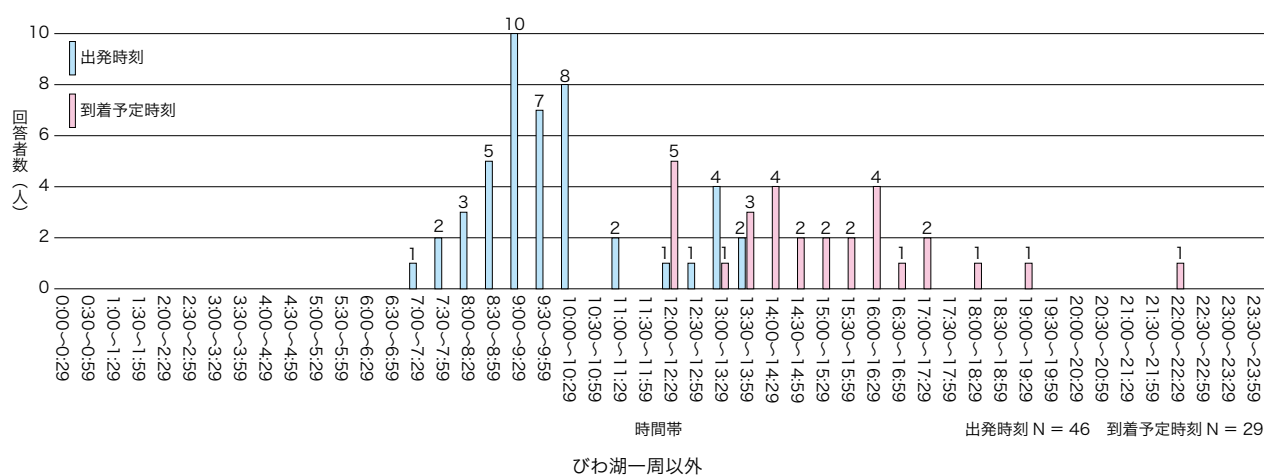
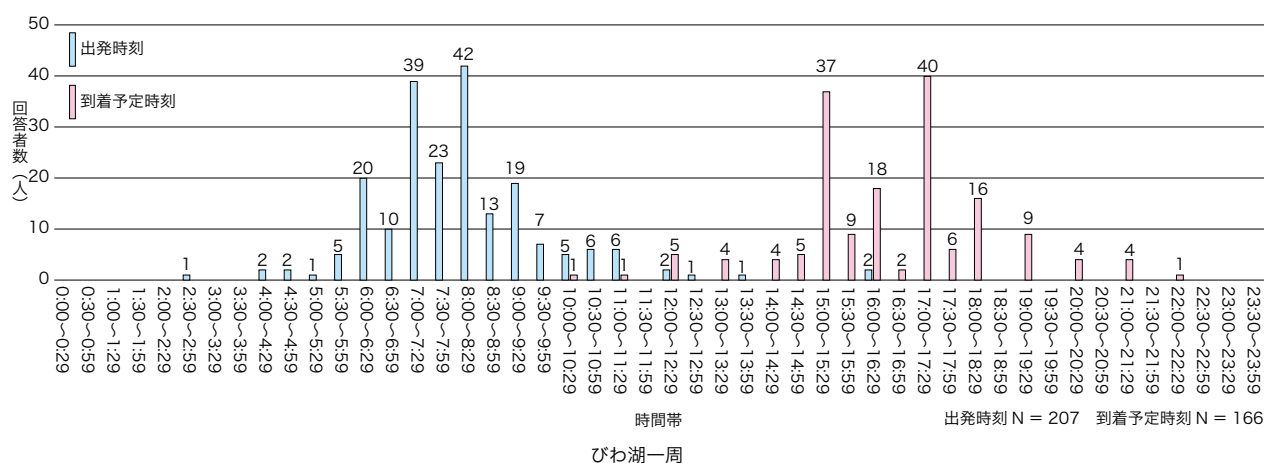


図 2-38 びわ湖一周かそれ以外かに分けた出発時刻及び到着予定時刻

質問 9. スタート地点までの利用交通手段

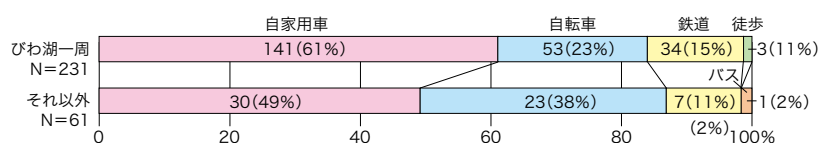


図 2-39 びわ湖一周かそれ以外かに分けたスタート地点までの利用交通手段

以上の結果より、南湖と北湖に分けた場合と同様、びわ湖一周とそれ以外で傾向がはっきり異なることが分かった。

びわ湖一周は県外の比較的サイクリングに慣れた人が多く、年齢もやや若めである。

びわ湖一周以外では、滋賀県内のサイクリング初心者が近距離をサイクリングするのが主流であり、年齢もやや上になる。また、びわ湖一周に比べて出発時刻は遅く、到着予定時刻は早い。

交通手段としては、びわ湖一周の方が自家用車で来る人の割合が高い。

3. 自転車走行台数の測定

3-1. 調査手順

湖岸道路沿いにある宿泊施設の中から、ほぼ全てのサイクリストが湖岸を走っていると思われる地点にあるものを選び、その部屋からビデオカメラで道を撮影して後日そのビデオを見て走行台数を数えた。サイクリストは早朝から走ることが多いため日の出の時間から測定する必要があり、かつ上から見下ろせた方が走行状況が見やすいことが宿泊施設を選んだ理由である。ただし、湖西については走行ルートが1本だけに集約される所が白鬚神社付近しかなく、そこには適当な宿泊施設がなかったため、レストラン湖西路のテラスから撮影を行った。測定地点は以下の通りである。

- ・ホテル琵琶湖プラザ（守山市）
- ・総合リゾートホテル ラフォーレ琵琶湖（守山市）
- ・旅館 紅鮎（長浜市湖北町）
- ・レストラン湖西路（高島市鶴川）



琵琶湖プラザとラフォーレ琵琶湖は場所は近いが、琵琶湖プラザが琵琶湖大橋より南側、ラフォーレ琵琶湖は北側という違いがある。

測定日時は平成27年10月31日(土)、11月1日(日)の2日間のほぼ日の出から日の入りまで、6:30～17:00である。

走行台数は、びわ湖側の歩道、びわ湖側の車道、山側の車道、山側の歩道に分けて、また順走（左側通行）、逆走（右側通行）、さらにサイクリングか地元の人の日常利用かを見たとより推測し分類して積算した。また、1時間毎にも分けて測定した。ただし、レストラン湖西路前のみびわ湖側の歩道はなく、山側はガードレールにより歩道と車道が区切られているがカメラの位置の関係でガードレールのどちら側を走っているかの判別が困難であったため、歩道と車道の区別は行っていない。

3-2. 調査結果

3-2-1. 地点別走行台数

サイクリングの自転車の2日間の走行台数をそれぞれの地点別に走行方向に分けて集計したものが図3-1である。

いずれの地点でも反時計回りの方が多くなっている。

なお、旅館紅鮎前で2日目の16時から17時のビデオが収録ミスのため撮影できておらず、この間の台数測定ができていない。1日目の同時時間の走行台数は2台であるため、2日目も同じ台数の走行があったとすると、合計487台となる。

一般自転車について同様に集計したものが図3-2である。

ホテル琵琶湖プラザは、街から比較的近く付近に住宅も多いため走行台数が多くなっている。

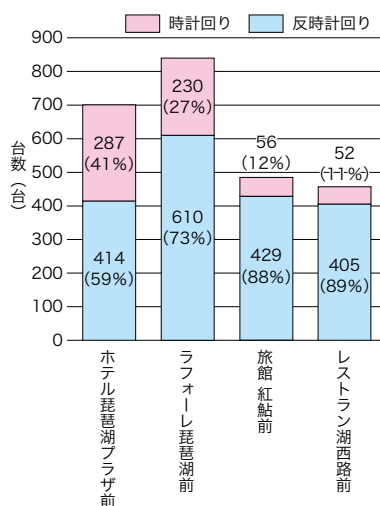


図3-1 サイクリングの地点別走行台数

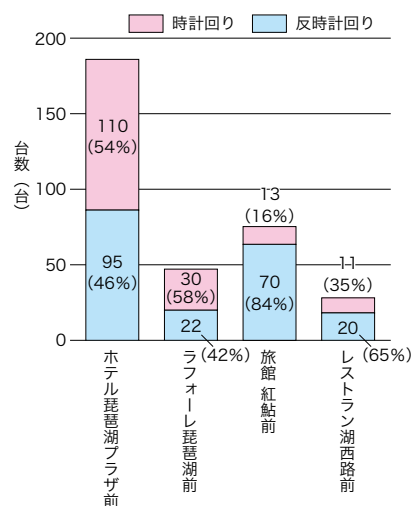


図3-2 一般自転車の地点別走行台数

3-2-2. 道路上の走行位置別台数

各測定地点毎に、サイクリングの自転車を道路上の走行位置別に集計したものが下の図である。

びわ湖側の歩・車道では順走が反時計回り、逆走が時計回りであり、山側の歩・車道では順走が時計回り、逆走が反時計回りである。

ホテル琵琶湖プラザ前及びラフォーレ琵琶湖前のサイクリングの自転車については、反時計回りの場合はびわ湖側の歩道が最も多いが、びわ湖側の車道を走る者も比較的多い。時計回りの場合は山側の歩・車道を使う人と、びわ湖側の歩道を逆走する人が同程度である。

旅館紅鮎前では、びわ湖側歩道を走る自転車より、びわ湖側車道を走る自転車の方が多い。反時計回りの場合、びわ湖側の歩道は旅館紅鮎のすぐ南側で一旦無くなる。ここでの台数測定は、旅館紅鮎南側の窓からびわ湖側の歩道がある場所を撮影し測定を行った。反時計回りの自転車にとっては、その先ですぐに歩道がなくなる場所であり、かつ歩道を最後まで行くと車道との間に鎖が張ってあり出にくくなる。また、この場所では車道に自転車走行位置を示す矢羽根印がかかれていたため、車道走行が多くなったと考えられる。

レストラン湖西路前では、反時計回りの自転車はびわ湖側の車道を走る場合が69%を占めているが、山側を逆走する例も20%と比較的多い。この場所は交通量が多くびわ湖側に歩道がなく路肩も狭いためであると考えられる。

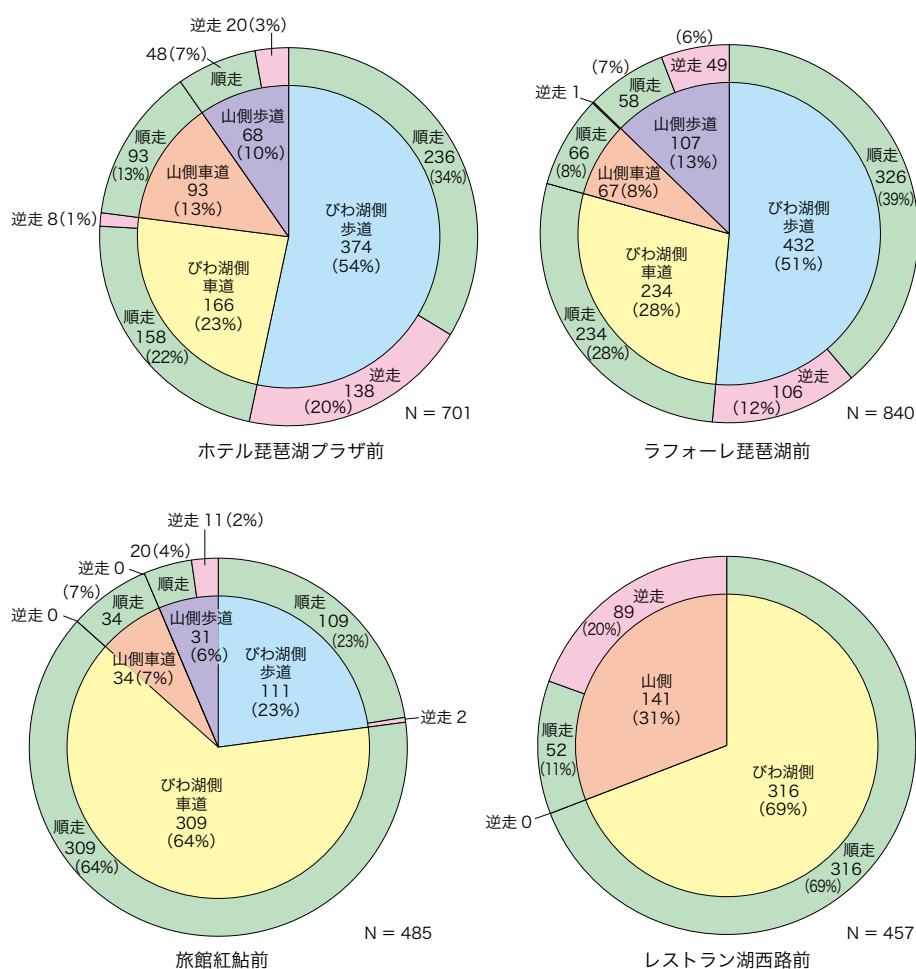


図 3-3 サイクリングの自転車の道路上走行位置別台数

次に、一般自転車について集計したものが下図である。

一般自転車については、ホテル琵琶湖プラザ前では走行方向によらず、山側の歩道を走る例が多い。道路沿いの各種施設はほとんど山側にあるため利便性を考えてのことだと思われる。

レストラン湖西路前では、ほとんどの自転車が進行方向にかかわらず山側を走っている。びわ湖側に歩道がなく、かつ道路沿いの各種施設はほとんど山側にあるためであると考えられる。

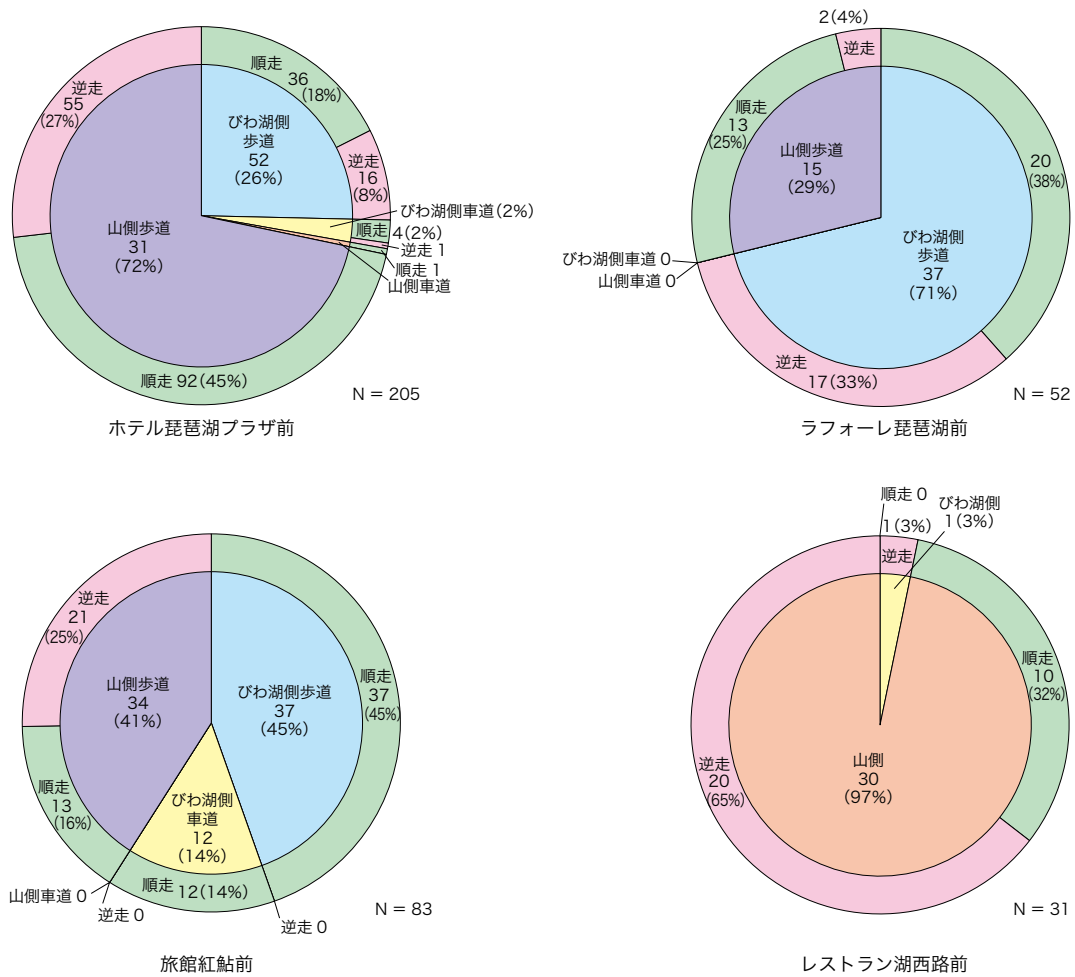


図 3-4 一般自転車の道路上走行位置別台数

3-2-3. 時間帯別集計

1 時間毎の時間帯別に走行台数の推移を集計したものが以下の図である。

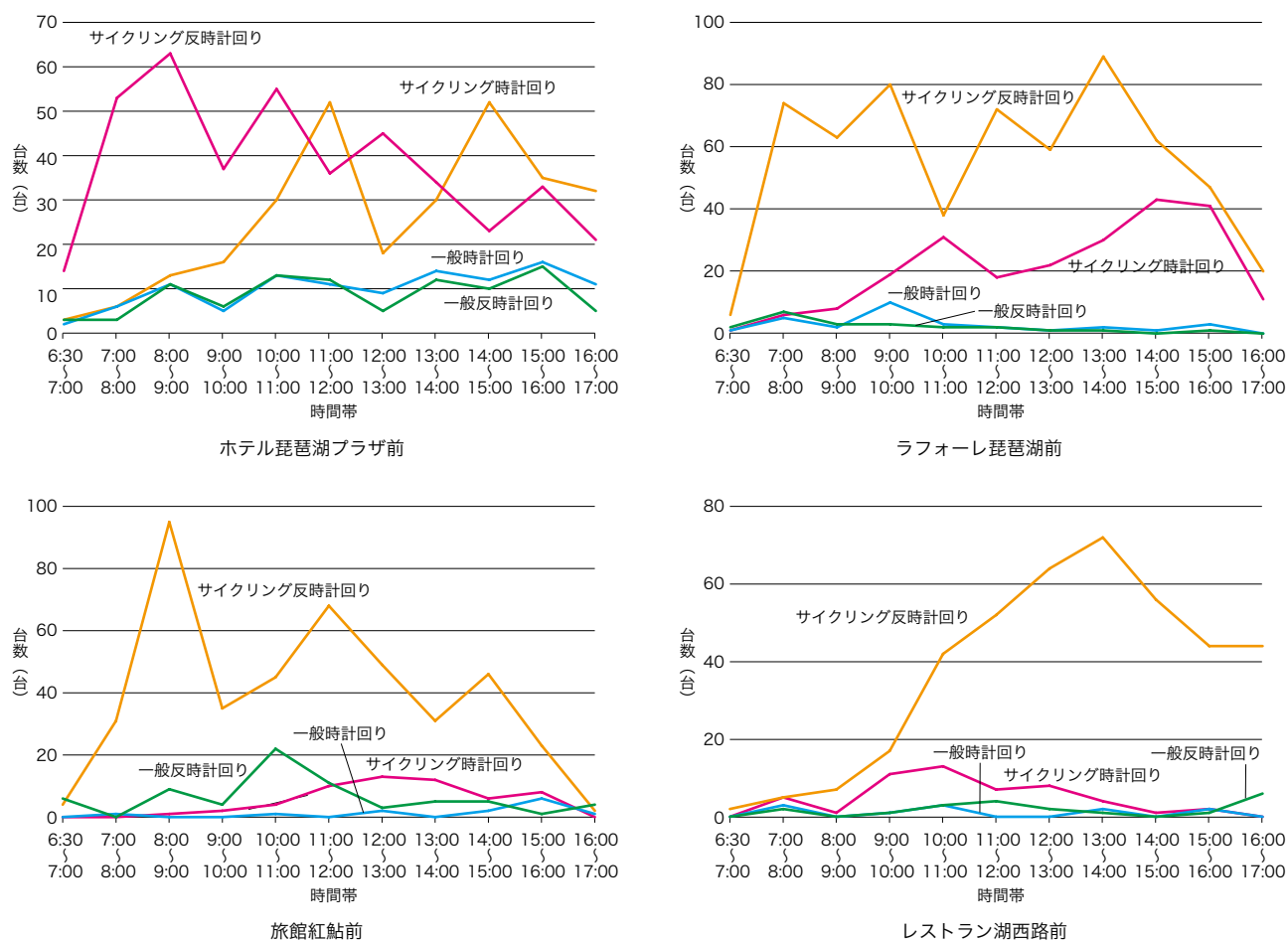


図 3-5 時間帯別台数

サイクリングの自転車に着目すると、ラフォーレ琵琶湖前で午後に時計回りの自転車が増加している。また、レストラン湖西路前では午前中に時計回りが、午後は反時計回りが増加している。

これは、大津あたりを起点に1日で一周する自転車のうち、反時計回りの自転車が午前中に守山を通過し、午後に高島を通過。時計回りの場合は午前中に高島を通過し、午後に守山を通過するためだと推測できる。

3-3. 年間のびわ湖一周者数の推計

輪の国びわ湖推進協議会では、びわ湖一周認定証の発行を行っている。認定のためにはスマートフォンや携帯でGPSを使って湖岸にあるチェックポイントのうち4ヵ所以上でチェックを行う必要がある。このチェック者数の推移は、びわ湖一周者数の推移にほぼ比例すると考えられるため、このデータと前述の自転車走行台数測定結果より、びわ湖一周者数の推定を行うことができる。

測定期間直近の1年間、平成26年11月2日から27年11月1日までのびわ湖一周認定チェック者数の推移は次の通りである。最近1年間のデータだけを使用する理由は、びわ湖一周認定申請者数は年々増加しているが、その要因としてびわ湖一周者数の増加と認定システム自体の認知度向上の両方が考えられる。それぞれの増加に寄与する割合が不明であり、古いデータになるほど走行台数の推定には不適切だと考えられるためである。

平成27年9月19日～23日のシルバーウィークは祝日の並びがよく5連休になった上に晴天が続いたためチェック者数が年間で最も多くなっている。次いで春のゴールデンウィーク、その次に夏のお盆の時期が多いことが分かる。その他の秋の連休の時期にも増加していることがわかる。

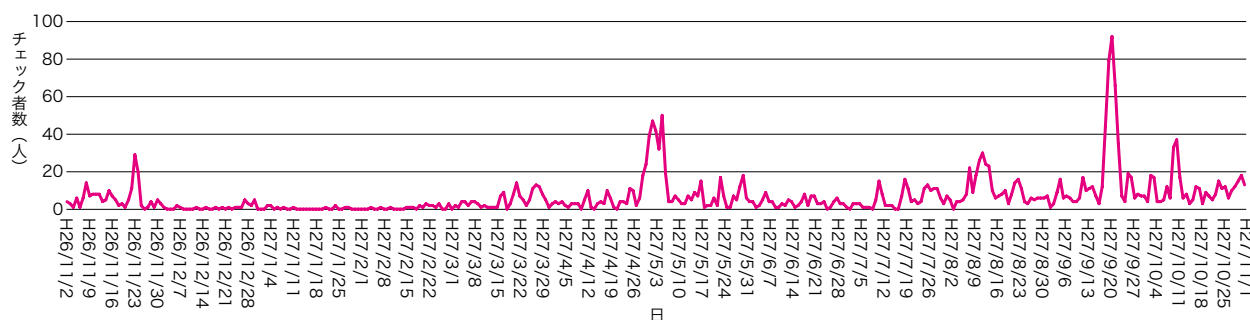


図 3-5 びわ湖一周認定チェック者数の年間推移

チェック者数は休日に増加し、平日は減少するのでグラフはギザギザになる。見やすさのために1週間毎に集計した結果が次図である。

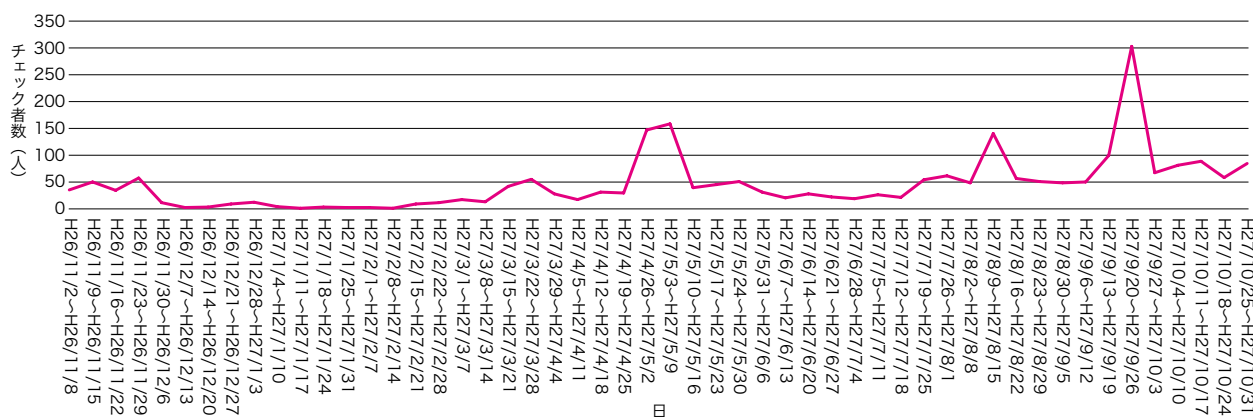


図 3-6 びわ湖一周認定チェック者数の1週間毎の年間推移

図3-5の集計では、10月31日のチェック者数は18人、11月1日は13人となっている。一週間前の土日、10月24・25日は15人および11人、2週間前の土日、10月17、18日は12人・11人であった。また一週間後の土日11月7・8日は5人・4人であった。10月17・18・24・25日は晴れて温かかったが、10月31日・11月1日は晴れてはいたがやや寒い日であった。しかし11月3日が祝日の飛び石連休だったため、寒くなった割にはサイクリングの人数は多かったと思われる。11月7・8日は曇りでやや寒くなり走行者数が減少したと考えられる。以上の理由により10月31日・11月1日のチェック者数は前後の日に比べて突出した値にはなっておらず、推計に採用しても良いと判断できる。

びわ湖一周者数を求めるために使用する10月31日、11月1日の走行台数の値は、3-2-1で述べた旅館紅鮎前の2日間で487台の値を採用する。理由は次の通りである。一般的に観光客の人数を表すのに日単位で集計した延べ人数が使われる。びわ湖岸のどこかのポイントで測定した走行台数は2日間かけて一周した場合でも1回しかカウントされないの、延べ人数を求めるためには2日かけた場合は2人とカウントされるように変換を行う必要がある。そのためには測定したポイントを走る人たちが何日かけてびわ湖を廻っているかのデータが必要になる。旅館紅鮎とアンケート地

点の道の駅湖北みずどりステーションとの間の距離は 200m 程で、途中に大きな分岐もないためみずどりステーションでのアンケート結果は、紅鮎前を通る人のデータとほぼ同一と考えて差し支えないと考えられる。なお、図 2-30 ではみずどりステーションでのアンケート回答者のうち 85%がびわ湖一周となっているが、観光振興の観点からは厳密にびわ湖一周する人だけでなく、それに準ずるような長い距離を走る人も一周者と同様に扱ってもいいと考えられる。みずどりステーションは街や駅から離れており、このあたりを走る人はほぼ全員がかなり長距離を走っていると推測できる。

図 2-31 中の、みずどりステーションでのアンケート結果より、1 周回数総計と日単位の延べ人数の比は以下のように計算できる。

$$\begin{aligned} 1 \text{ 周回数総計} &= 113 \text{ (1 日で一周の人数)} + 51 \text{ (1 泊 2 日の人数)} \\ &\quad + 6 \text{ (2 泊 3 日の人数)} + 2 \text{ (3 泊以上の人数)} = 172 \text{ (回)} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{延べ人数} &= 113 \text{ (1 日で一周の人数)} + 51 \text{ (1 泊 2 日の人数)} \times 2 \text{ (日)} \\ &\quad + 6 \text{ (2 泊 3 日の人数)} \times 3 \text{ (日)} + 2 \text{ (3 泊以上の人数)} \times 4 \text{ (日)} = 241 \text{ (人)} \end{aligned}$$

$$\frac{\text{延べ人数}}{1 \text{ 周回数総計}} = \frac{241}{172} \approx 1.4$$

また、2014 年 11 月 2 日から 2015 年 11 月 1 日までの認定システムのチェック者数は延べ 2,384 人である。
以上の数値より 1 年間のびわ湖一周者数を求めると次のようになる。

$$\begin{aligned} &487 \text{ (紅鮎前の測定期間 2 日間の走行台数)} \div 31 \text{ (2 日間のチェック者数)} \times 2,384 \text{ (1 年間のチェック者数)} \\ &\quad \times 1.4 \text{ (延べ人数} \div 1 \text{ 周回数総計)} = 52,433 \text{ 人} \end{aligned}$$

上記のびわ湖一周者数と、認定システムのチェック者数より年間のびわ湖一周者数の推移を求めたものが次の図である。

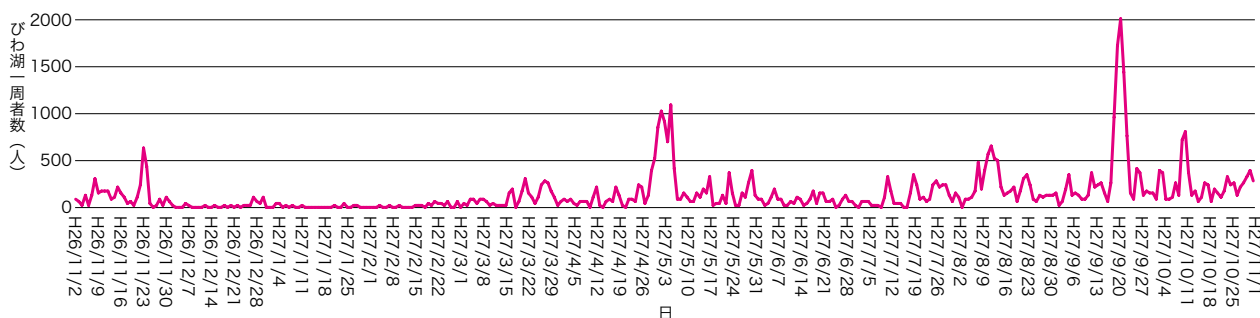


図 3-7 びわ湖一周者数の年間推移推計

また、紅鮎前の走行台数 487 台に対して、図 3-1 のラフォーレ琵琶湖前では 840 台のサイクリングを行う自転車が計測されている。487 台を越える分の 353 台はびわ湖一周以外のサイクリングであり、ラフォーレ琵琶湖前以外を走るサイクリストもいることを考えると、大雑把だがびわ湖一周者数と同数程度のそれ以外のサイクリストがいるのではないと思われる。

4. まとめ

以上の結果から特徴的な点をまとめると次のようになる。

- ・びわ湖北部を走行しているサイクリスト中、びわ湖一周者が8割を占める
- ・びわ湖一周者のうち9割が反時計回りである
- ・びわ湖サイクリングの日数は、7割が日帰り、25%程度が1泊2日である
- ・サイクリングスタート地点までや、ゴール地点から自宅までの交通手段は自家用車が半分強を占める。3割程度が自宅から自転車で、公共交通で来るのは15%程度である
- ・びわ湖サイクリングでレンタサイクルを使う人は6%程度である
(しまなみ海道では2012年度のサイクリング者中レンタサイクルの割合は42.8%)
- ・走行位置の表示は標識より路面に書く方がいいという意見が8割を占める
- ・よりみちコースの案内があれば走りたいという人が75%程度である
- ・びわ湖を走って良かったことには、景色やびわ湖の美しさを挙げる人が圧倒的に多い
- ・車との走行空間を分けて欲しいという意見が多い
- ・南湖は、滋賀県内の人々が近場のサイクリングを楽しむのが主流。対して北湖はびわ湖一周を目指すのが主流である
- ・自転車の走行位置は、びわ湖側の歩道を順走する場合が最も多いが、びわ湖側の車道順走や、びわ湖側の歩道逆走も比較的多い
- ・白鬚神社付近では、びわ湖側の車道を順走する人が最も多いが、車と同じ所を走行するのを避けて山側の歩道を逆走する人も比較的多い
- ・平成27年1年間のびわ湖一周者数の推定数は**約5万2千人**である。また、びわ湖一周以外のサイクリストも合わせると10万人程度であると思われる(しまなみ海道の2012年度のサイクリング者数推計は約17万5千人)

5. 付録

アンケート用紙

びわ湖サイクリングについてのアンケート

滋賀プラス・サイクル推進協議会

びわ湖周辺のサイクリング走行環境整備のためアンケートを行っています。ぜひご協力をお願いします。
質問毎にいずれか一つの項目に○印をお願いします。

1. どちらから来られましたか？

☐滋賀県内 ☐京都府 ☐大阪府 ☐兵庫県 ☐奈良県 ☐岐阜県 ☐福井県 ☐三重県
☐愛知県 ☐東京都 ☐その他都道府県 () ☐海外 ()

2. 性別は？

☐男性 ☐女性

3. 年代は？

☐10歳未満 ☐10歳代 ☐20歳代 ☐30歳代 ☐40歳代 ☐50歳代 ☐60歳代 ☐70歳以上

4. 長距離サイクリング（約50km以上）の経験は？

☐なし。今回も50km未満 ☐今回が初めて ☐1～5回程度 ☐5回～20回程度 ☐約20回以上

5. 今回のサイクリングはびわ湖一周（琵琶湖大橋以北を一周を含む）ですか？

☐はい ☐いいえ

5-1. びわ湖一周の方にお聞きます。びわ湖を回る向きは？

☐時計回り ☐反時計回り

6. これまでに自転車でびわ湖一周（琵琶湖大橋以北を一周を含む・複数回に分けてでもOK）された回数は？

() 回

7. 今回のサイクリングの日程は？

☐1日 ☐1泊2日 ☐2泊3日 ☐3泊以上

8. 今回のサイクリングのスタート地点及び出発時刻は？

☐大津市（浜大津周辺またはそれより東側） ☐大津市（堅田・雄琴周辺） ☐それ以外の大津市
☐草津市 ☐守山市 ☐野洲市 ☐近江八幡・東近江市 ☐彦根市 ☐米原市
☐長浜市（長浜駅周辺またはそれより南） ☐それ以外の長浜市 ☐高島市 ☐その他 ()
_____時_____分頃出発

9. スタート地点までの利用交通手段は？

☐徒歩 ☐自転車 ☐自家用車 ☐バス（停留所名：_____） ☐鉄道（利用駅：_____）
☐その他 () ※停留所名および利用駅はバス、電車から降りた駅です。

10. 今回のサイクリングのゴール地点及び到着予定時刻は？

☐スタート地点と同じ ☐大津市（浜大津周辺またはそれより東側） ☐大津市（堅田・雄琴周辺）
☐それ以外の大津市 ☐草津市 ☐守山市 ☐野洲市 ☐近江八幡・東近江市 ☐彦根市 ☐米原市
☐長浜市（長浜駅周辺またはそれより南） ☐それ以外の長浜市 ☐高島市 ☐その他 ()
_____時_____分頃到着

11. ゴール地点からご自宅までの利用交通手段は？

☐徒歩 ☐自転車 ☐自家用車 ☐バス（停留所名：_____） ☐鉄道（利用駅：_____）
☐その他 () ※停留所名および利用駅はバス、電車に乗った駅です。

12. 宿泊場所は？【複数回答可】

☐宿泊していない ☐大津市（浜大津周辺またはそれより東側） ☐大津市（堅田・雄琴周辺）
☐それ以外の大津市 ☐草津市 ☐守山市 ☐野洲市 ☐近江八幡・東近江市 ☐彦根市 ☐米原市
☐長浜市（長浜駅周辺またはそれより南） ☐それ以外の長浜市 ☐高島市

13. 今乗られている自転車はレンタサイクルですか？

☐レンタサイクル ☐自分もしくは知り合いの自転車

13-1. レンタサイクルの方にお聞きます。どこで借りられましたか？

☐大津 ☐安土 ☐彦根 ☐米原 ☐高島 ☐その他 ()

14. 現在「安心・快適びわい치 サポートプロジェクト」として、サイクルサポートステーションの設置やヤマト運輸による宿泊施設・自宅への手荷物やお土産品の配送を実施中ですが、ご存じでしたか？

☐知っていた ☐知らなかった

15. 右のような水色ののぼりがあるサイクルサポートステーションに立ち寄られましたか？

☐1回立ち寄った ☐2回立ち寄った ☐3、4回立ち寄った ☐5回以上立ち寄った

- 15-1 サイクルサポートステーションに立ち寄られた方にお聞きします。

利用されたサービスは？【複数回答可】

☐サイクルラック ☐トイレ ☐空気ポンプ ☐工具 ☐チューブ・パッチの販売
☐ボトルへの給水 ☐シャワー ☐休憩スペース ☐情報コーナー ☐荷物の搬送
☐その他 ()

16. サイクルサポートステーションにあったらいいと思うサービスは？【複数回答可】

☐サイクルラック ☐トイレ ☐空気ポンプ ☐工具 ☐チューブ・パッチの販売
☐ボトルへの給水 ☐シャワー ☐休憩スペース ☐情報コーナー
☐宿泊施設等への荷物の搬送 ☐自転車の点検・修理 ☐リタイア（タクシー）への取り次ぎ
☐メンテナンススペース ☐仮眠環境 ☐ロッカー ☐交流スペース ☐レンタサイクル
☐自宅-ステーション間の自転車運搬
☐その他 ()



17. 現在、右の写真のようなコース表示（水色の矢羽根マーク）を右下の図の設置箇所でテスト中です。気がつかれましたか？

☐そのあたりは通っていないのでわからない ☐通ったが気がつかなかった
☐気がついた

- 17-1 「気がついた」と回答された方へ、路面への表示は標識に比べてわかりやすいと思いますか？

☐路面への表示がわかりやすい ☐標識の方がいい
☐その他 ()

矢羽根マーク写真



- 17-2 さらにわかりやすい表示にするために、思いつくことがあればお書きください。

()

- 18 「よりみちコース」の案内があれば、走ろうと思いますか？

☐思う ☐思わない

19. びわ湖を走ってみてよかったと思うことをお書きください。

()

20. 車と同一区間を走行するところにおいて、走行性、案内や安全面でもっと改善して欲しいことにチェック願います。【複数回答可】

☐車と自転車の通行は別にする ☐レーンマークで分けて欲しい
☐矢印やピクトマークで自転車の通行を誘導して欲しい ☐舗装に色を付けて欲しい
☐自転車通行可能な案内標識を増やして欲しい ☐もっと分かりやすい案内標識にして欲しい。
☐その他 ()

21. 道路や案内など、問題だと思う所、安全面でもっと改善して欲しいことがあればお書きください。

()

22. びわ湖をサイクリングをさらに楽しむために、必要だと思うサービスがあればお書きください。

()

矢羽根マークの設置場所



質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

質問 19. びわ湖を走ってみてよかったと思うこと

数字は同じ意見の人の人数である。

景色、びわ湖の美しさ、季節の移ろい

- ・ 景色 9
- ・ 景色が良い 7
- ・ 景色がきれい 5
- ・ 景色がいい 3
- ・ 景色がキレイ 2
- ・ 景観 2
- ・ 田園風景も含め、びわ湖湖畔の美しさ。建物もきれい
- ・ 絶景 気持ちが良い
- ・ 景色がとてもきれい
- ・ 気が晴れる 景色が良い
- ・ けしきがきれいで道も走りやすい
- ・ 湖がきれい
- ・ 湖面が美しい
- ・ 景色の綺麗さ 滋賀すばらしい
- ・ 景色の壮大さ
- ・ 湖がきれい。
- ・ 健康、景色、季節の移り変わり
- ・ 景色がよくてよかった
- ・ けしき
- ・ 美しい
- ・ 風景
- ・ 夕日がキレイ
- ・ 湖の風景 アップダウンが少ない
- ・ 景色・風
- ・ きれい 季節が感じられる
- ・ びわ湖の景色が楽しめる
- ・ びわ湖がきれい
- ・ 景色、北部の峠の登りごたえ
- ・ きれい
- ・ 風景がきれい
- ・ 走る度に色んな絶景に出会える（近江八幡の沖島やびわ湖沿いの夕日は最高！！）
- ・ 休憩の度に様々な景色が見られる
- ・ 景色よし
- ・ 季節のうつろいを感じられる
- ・ 健康、景色、季節の移り変わり

気持ちがいい

- ・ 気持ちがいい 2
- ・ 気持ちいい 2
- ・ 気分が良かった
- ・ そう快！ 最高！
- ・ 気楽
- ・ びわ湖を見ながら走るのはとても気持ちがいい
- ・ 気持ちいい 達成感
- ・ 快適です
- ・ 気持ち良い

- ・ 気持ちいいです
- ・ のびのび走れる
- ・ 爽やか
- ・ たのしい！！
- ・ 開放感
- ・ 走っていて気持ち良いです。

達成感、自分との戦い

- ・ 達成感 3
- ・ 自分との戦い 2
- ・ 練習になる 2
- ・ チャレンジ、達成感
- ・ 琵琶湖の大きさを痛感すること
- ・ 達成感をあじわえる。健康によい
- ・ 目標ができる
- ・ 気持ちいい 達成感
- ・ 苦しさを乗り越えての達成感
- ・ 達成感がいい 80km

坂が少なく走りやすい

- ・ フラットコース
- ・ あまり坂がなく、気持ちいい
- ・ 信号か少ない所 坂道少ない
- ・ 平地で気持ちいい
- ・ up、down が少なく走りやすい
- ・ フラットで走りやすい
- ・ 高低差が少ないので走りやすい
- ・ 平たん
- ・ 平坦で長距離を走りやすい
- ・ 自転車が走り安い道が整備されている
- ・ ロングライドになるが急な坂がないので楽だ

信号が少ない

- ・ 信号少なく走りやすい。
- ・ 信号が少なく走れるのできもちが良い
- ・ 信号か少ない所 坂道少ない
- ・ 常時びわ湖が見えること 信号があまりなく走れること
- ・ 信号がない

道が良い

- ・ 道がよい！！
- ・ 道が整備されている
- ・ 路面がいい
- ・ 道が良い。

自然がいっぱい

- ・ 自然がいっぱい

- ・自然が多い

人が親切

- ・車が自転車の多いことを良く知っていて上手によけてくれる
- ・親切な人が多い パンクして水とバケツをかして下さった

その他

- ・走りやすい..... 6
- ・走り易い..... 2
- ・場所ごとに異なる文化・歴史

- ・地元滋賀の良さを再発見できる
- ・一周の距離が適度
- ・とても走りやすい。時々狭い場所があるのですべて走りやすくなると思います
- ・風が強い
- ・サイクリングロードが整備されている
- ・友達が出来た
- ・平らな道路が多いが近江八幡の道路が狭い
- ・よかった
- ・自転車を買ったから
- ・また来たいと思います。
- ・全てよい

質問 21. 道路や案内など、問題だと思う所、安全面でもっと改善して欲しいこと

自転車道の整備・車との分離

- ・車と自転車の通行は別にする
- ・自転車道の整備、HP での案内
- ・自転車道の整備
- ・自転車専用道路を全ての湖岸に整備してほしい
- ・大津市内の琵琶湖西岸にサイクリングロードを。(危険が多い)
- ・一周完全にサイクリングロードがあればいいなあー。
- ・自転車の走行ルートがあるといい
- ・車と自転車を分けてほしい。道路をきれいにしてほしい
- ・サイクリングロードがあると安全に走行できる
- ・自動車の区分を明確に出来たら！
- ・車と自転車でわけて走行出来る区間を増やして欲しい
- ・自転車専用道の整備
- ・自転車レーンが欲しい所もある
- ・もう少し自転車が走行する為にブルーラインの数を増やして欲しい（日本全国の全ての道路に！！）

道の段差を無くして欲しい

- ・自転車道路の段差が気になる
- ・段差を少なくしてほしい
- ・サイクリングコースと道が交差する箇所の 2 ～ 3cm の段差を無くしてほしい（自転車が傷みます）
- ・路面のギャップ
- ・道路に凹凸がある場所が多いのでなだらかにしてくれたらうれしい
- ・段差なくす
- ・なるべく凸凹を補修して欲しい。
- ・道路のデコボコをなくして欲しい
- ・自転車用レーンをきれいにしてほしい 凸凹が多い
- ・ガタガタの道を整備してほしい
- ・自転車走行可の歩道がガタガタしていて走りにくいところがある。
- ・もう少し道路を平面にできたら

舗装の状態が悪い

- ・舗装が良くないと思う
- ・自転車道の路面が悪い
- ・道路（自動車部分）の端の方の舗装が悪い
- ・舗装をもっときれいに
- ・舗装して欲しい
- ・路面が荒いしおしりが痛い
- ・舗装がいたんでガタガタの所がある
- ・路肩の修理
- ・歩道が悪路で走りにくい
- ・路面を滑らかにして欲しい

路肩を広くして欲しい

- ・車幅を広く
- ・路側帯の拡幅
- ・路側を広くしてもらいたい
- ・道がせまい
- ・せまいところの道路幅の余裕を
- ・一部路肩がせまいところがある
- ・道幅が狭い所が多いのでトラックが来るとヒヤヒヤする

歩道を広くして欲しい

- ・歩道の幅を広くして自転車を通れるようにしてほしい
- ・歩道が狭く車が接近して怖いと思うときがある

トンネルが怖い

- ・賤ヶ岳トンネル非常に危険を感じた
- ・トンネルがこわい！
- ・賤ヶ岳のトンネルを通れるようにして下さい
- ・狭いトンネルの歩道を広く！
- ・車道のための所がこわい。トンネル内せまい
- ・トンネル内
- ・トンネルに柵が欲しい

高島から大津にかけてが走りにくい

- ・湖西が走りにくい 道幅が狭く危険
- ・R161
- ・西岸の市内の道路整備
- ・国道など大型との並行は大変こわい！
- ・高島から大津、車が多くあぶない

砂利や小石で走りにくい

- ・路肩のジャリを減らして欲しい
- ・サイクリングロードでも枝が多くてパンク等安全ではない
- ・長浜城付近のサイクリングロードの一部が砂利のため走りにくい。道案内を明確にして欲しい
- ・歩道に小石多数。パンクの原因に！！

案内板を充実して欲しい

- ・おすすめ箇所の案内が欲しい
- ・案内板が少ない
- ・びわこ一周の看板をもっとわかりやすいしてほしい
- ・表示をもっと見やすくしてほしい

サイクリングロードがわかりにくい

- ・サイクリングロードが途中でとぎれているのがわかりにくい
- ・長浜城付近でのサイクリングロードが一部不明な所があった

- ・途中わかりにくい所がある
- ・しまなみ、岡山片上ロマン街道の様に線を書いて下さい。1本の細い線。まいごになる

道の駅等休憩所が道の反対側にあり、入りにくい

- ・休けい所に入りにくい（反対車線側にある為）
- ・エイドステーションに反対車線を通っていても入りやすいようにしてほしい

草を切って欲しい

- ・道路に飛び出してる草を切ってほしい
- ・草

その他

- ・照明を増やす（街灯）
- ・ドライバーが自転車にやさしくない
- ・無し！！
- ・道の駅への入口に横断道を欲しい
- ・チェックポイントをわかりやすく
- ・分岐でこの後、本線と合流するかどうかがわかるようにしてほしい。
- ・歩道が狭く、車道も狭いとき、車の追い抜きがこわい
- ・さざなみサイクリングロードに寄ったらひどかったので、整備するなり、看板を外すなりすべき！ 大型トラックが時々怖い
- ・特になし

質問 22. びわ湖をサイクリングをさらに楽しむために、必要だと思うサービス

サイクリングロードの整備

- ・道路の整備（全体に）
- ・サイクリングロードの完備。
- ・路上の色分けをしてくれると助かります。
- ・青ライン、サイクリングラック
- ・安全の確保。車と完全分離
- ・サイクリングロードの拡充
- ・サイクリングロードの整備

故障時の修理サービス

- ・急なトラブルに対応してくれるサービスがあれば良い
- ・スタート・ゴールの設定 60km・100km コースと表示
- ・パンク修理ロードサービス
- ・自転車修理サポート
- ・メンテナンスサービス
- ・自転車の整備
- ・故障対策
- ・修理してもらえる所がもう少しあった方がいいと思う

案内標識の充実

- ・案内標識をもっとほしい。
- ・安全標識の増設

- ・コース案内 名所の明示
- ・より道の情報を多く知りたい。
- ・自転車店の場所の表示
- ・案内板を多くしてほしい

サイクルステーションのサービス充実

- ・サイクルステーションを増やしてほしい
- ・コンビニにチューブ売って欲しい。パンク修理キットなど。
- ・道の駅に空気入れがあると助かります。
- ・ポンプがいろいろの場所にいい。

サイクルラックを増やして欲しい

- ・サイクルラックを増やしてほしい
- ・バイクスタンドを増やして欲しい
- ・サイクルスタンド

トイレの増設

- ・トイレだけの場所がもっとあったらよい
- ・トイレの設置
- ・トイレの整備をしてほしい

距離表示を増やして欲しい

- ・距離表示を多くしてほしい
- ・距離表示を増やしてほしい
- ・急なトラブルに対応してくれるサービスがあれば良い・
- ・スタート・ゴールの設定 60km・100km コースと表示

レンタサイクルの充実

- ・レンタサイクルをもっと増やしてほしい
- ・レンタサイクルをもっと安く
- ・レンタサイクルに‘ママチャリ’以外を増やして欲しい

道路のメンテナンス（凸凹、小石等）

- ・道路のメンテ
- ・湖西側のサイクリング道のデコボコがはげしい
- ・路肩のそうじ（小石やゴミなど）

駐輪中の有料監視サービス

- ・有料でも管理・監視をしてくれるサービス
- ・キャリアサービス、駐車中の監視（有料でも）

電車で持ち込めるようにして欲しい

- ・輸送しやすい鉄道サービス
- ・電車にもちこみできるようにして欲しい（そのまま）

その他

- ・コンビニエンスショップ
- ・歩行者数に対して歩道が太すぎるか？
- ・休憩スペースを増やしてほしい
- ・すばらしい
- ・まだよくわからない
- ・一人だと車道を走るのがこわい
- ・イベント
- ・大型車の走行を制限する。怖い。
- ・楽に走れる道を増やして欲しい
- ・びわ湖はサービスがとてもいいと思います。
- ・サイクリングマップがわかりにくい〔ネットからダウンロードしました〕 観光への案内がほしい
- ・自家用車をとめておける駐車場が多いと良い
- ・食事かな
- ・特になし 2